

1 事業名 **さんべ夢ステージ ～君こそが、未来のリーダーだ！～**

2 必要性

2007年1月に出された「次代を担う自立した青少年の育成に向けて」の中央教育審議会答申の中に「青少年の意欲を高め、心と体の相伴った成長を促すため」の重視すべき方策として、「青少年教育施設が中核となり教育効果の高い体験活動を計画的に提供する」とある。また、2008年12月に出された新しい青少年育成施策大綱の重点課題の中では「自他の生命を尊重する心や、社会的に自立するために必要な知識、経験、社会性をはぐくむとともに、新たな価値を生み出し、未来を切り拓く創造力を養成する」取り組みが必要とあるように、様々な体験を通して、リーダーとしての資質を高めていくことが求められている。

本事業は、様々な体験を通して「リーダーシップ」を学ぶとともに、将来社会に積極的に貢献できる青少年の育成を目指しており、青少年教育の推進拠点としての国立青少年教育施設が先進的かつ継続的に取り組むべき事業である。

3 趣 旨

主体的に社会に参画しようとする青年を対象に、事業の企画・運営を通してリーダーシップを身に付け、将来のリーダーとなるための体験を通した学びを提供する事業である。「リーダーシップ」をキーワードに、企画・運営の様々な場面で合意形成・問題解決を繰り返す中で対人関係能力などリーダーとして必要な資質の向上を図ることをねらいとしている。

4 後 援

島根県教育委員会、島根大学、島根県立大学、松江工業高等専門学校

5 期 日

①企画力・運営力アップセミナー編

平成21年7月3日（金）～7月5日（日）

②想いを形にする編

第1回 平成21年 8月22日（土） ～ 8月23日（日）

第2回 平成21年 9月14日（月） ～ 9月15日（火）

第3回 平成21年 9月29日（火） ～ 9月30日（水）

第4回 平成21年10月 3日（土） ～10月 4日（日）

第5回 平成21年10月16日（金） ～10月18日（日）

③夢が現実になる本番編

平成21年10月23日（金）～10月25日（日）

6 参加者

(1)募集対象・人数 大学生（短期・専門学校を含む）、社会人

- ①企画力・運営力アップセミナー編 20人
- ②想いを形にする編 30人(延べ)
- ③夢が現実になる本番編 30人

(2)参加人数

- ①企画力・運営力アップセミナー編 21人
- ②想いを形にする編 51人(延べ)
- ③夢が現実になる本番編 31人

(3)参加者分析

①企画力・運営力アップセミナー編

平成21年度は、島根県内の大学・短期大学・専門学校や広島県内の大学に幅広い広報を行った。その結果、島根大学教育学部の学生が13名、島根県立大学短期大学部松江キャンパスの学生が4名、これまでに本事業に関わったことのある社会人(教育関係者)4名の参加もあり、幅広いメンバー構成となった。

②想いを形にする編

企画力・運営力アップセミナー編は幅広いメンバー構成だったが、話し合いの日程や場所等の調整が難しく、島根大学の学生のみとなった。

③夢が現実になる本番編

さんべ祭当日のスタッフ不足が懸念されていたが、参加者全員の努力によって当日は31名のスタッフが活動することができた。

(4)参加者地域 島根県100名、鳥取県2名、岡山県1名(延べ)

7 参加経費

- ①企画力・運営力アップセミナー編 3,000円
- ②想いを形にする編 2,000円/回
- ③夢が現実になる本番編 3,000円

8 講師

- ①企画力・運営力アップセミナー編 西田 真哉 氏(トヨタ白川郷自然学校長)
(元国立三瓶青少年交流の家所長)

9 事業の内容

(1)事業の特色

本事業は、3編シリーズとなっている。第1編は、企画・運営について学びを活かし、企画の骨格を作成する過程。第2編は、企画を具体化・実現化していく過程。第3編は、実際に企画を発表する過程になっており、長期的に様々な体験ができる場を設定している。企画を計画する過程から発表までの活動は、参加者主体で行い、モチベーションを高めるとともに、青年たちの可能性や創造力を最大限発揮できる形にしている。また、広報・普及事業「さんべ祭」をこの事業の発表の場とすることで、企画の運営を通して訪れた様々な人たちと接したり、想いを伝えたりすることで、生の反応を実

感でき、社会参画の意欲が高まるとともに、次代のリーダーとしてよりよい社会の実現のための学びが獲得できる事業である。

(2) 企画のポイント

企画・運営における重要なポイントを理解し、それを活かしながら実際にさんべ祭での企画を立案から運営まで体験すると同時に、さんべ祭自体の企画・運営にも関わっていく。また、「リーダーシップ」について講義的に指導するのではなく、企画を成功に導く過程において、コミュニケーション能力、合意形成能力、問題解決能力等を必要とする場面を体験することにより良きリーダーシップについての学びを深め、今後自分の身のまわりで発揮できるようにする。

(3) 広報のポイント

① 企画力・運営力アップセミナー編

平成21年度は、島根大学の法人ボランティアに加え、島根県内の大学・短期大学・専門学校や広島県内の大学に幅広く募集した。

② 想いを形にする編

企画力・運営力アップセミナー編の参加者が、自主的に仲間に広報をして新たなメンバーを集めることを基本とした。当施設からは、前回の参加者や島根大学を中心に案内や資料を郵送した。

③ 夢が現実になる本番編

想いを形にする編の参加者が自分達の企画を現実のものにしていくために必要なスタッフを各参加者が各自の人脈を頼りながら広報活動を展開していった。その結果、自分達の夢が現実になるために必要なスタッフ数を集めることができた。このことによって参加者の大きな自信や成長につながったと考えられる。

(4) 日程表

① 企画力・運営力アップセミナー編

7/3 (金)	20:00		20:30		21:30		23:00	
			受付	講義・実習①	入	就		
			オープニング	「ねらいの共有」 ～昨年度の事例発表～	浴	寝		

7/4 (土)	6:30	9:00	12:00	13:00	17:00	19:00	21:00
	起つ朝 ど 床い食	講義・実習② 「企画力とは？」 「企画のポイント」	昼 食	実習③ 「企画～運営へ」 「企画をカタチに！！」	つ夕 ど い食	実習④ 「アクションプランの 作成①」	入就 浴寝

7/5 (日)	6:30	9:00	12:00	13:00	15:00	16:00
	起つ朝 ど 床い食	講義・実習⑤ 「アクションプランの作成②」	昼 食	講義・実習⑥ 「アクションプランの 発表・評価」	クロージング	解 散

②想いを形にする編

1 日 目	12:30 13:00 14:00			17:10 19:00			21:00
		受 付	オ ー プ ニ ン グ	実習① 夢ステージ企画につい ての話し合い①	つ タ ど い 食	実習② 夢ステージ企画につい ての話し合い②	入 就 浴 寝
2 日 目	6:30 9:00	12:00 13:00			14:00 15:00		
	起つ朝 ど 床い食	実習③ 夢ステージ企画について の話し合い③	昼 食	実習④ 夢ステージ企画について の話し合い④	ク ロ ー ジ ン グ ふ り か え り わ か ち あ い	解 散	

③夢が現実になる本番編

10/23 (金)	20:00 20:30			21:30 23:00		
		受 付	オ ー プ ニ ン グ 企 画 運 営 の 準 備 ①	入 浴	就 寝	

10/24 (土)	6:30	9:00	11:00	16:00	17:30	19:00	21:00
	起つ朝 ど 床い食	企画運営の 準備②	さんべ祭本番①	後片付け 明日の準 備等	夕休 食憩	今日のふりかえり 企画運営の準備③ 交流会等	入就 浴寝

10/25 (日)	6:30 9:00	14:30 15:00 16:00		
	起つ朝 ど 床い食	さんべ祭本番②	後片付け	ク ロ ー ジ ン グ 解 散

(5)運営のポイント

①企画力・運営力アップセミナー編

参加者のモチベーションを第一に考え、参加者の状況を十分に確認しながら、講師と共に活動を検討し、その状況に合った柔軟なプログラム展開ができるようにした

②ドンドン企画がカタチになる編及び③企画・運営本番編

リーダー格の参加者に伝えるべきことを伝える以外は、あくまでも支援者として関わることを基本的なスタンスとした。また、企画力・運営力アップセミナーで出てきた企画の幹になる部分と参加者の想いの部分を引き継ぐと同時に、新たな参加者の想いが上手く融合するように配慮した。

(6)安全管理のポイント

朝・夕のつどいの後や全体での話し合いの際に健康状態を確認するとともに、随所で休憩をとりゆとりのある活動になるよう心がけた。また、リーダー格の参加者にも健康観察を欠かさないことを指示した。

(7)アンケートの満足度・主な記述

①企画力・運営力アップセミナー編

満足度（アンケート回答者21人中）満足13人（61.9%）やや満足7人（33.3%）
やや不満1人（4.8%）

- ・ 今回は、企画力・運営力アップセミナーであったので、主に部屋での講義やグループワークが多かったと思います。しかし、よりよいアイデアや話しあいを進めていくためには体を動かすことも少しは必要でないかと思いました。
- ・ とても内容の濃い4日間でした。企画の難しさや、先輩方の目線・意見を勉強することができました。また、職員さんともおはなしして、よいアドバイスを沢山いただきました。
- ・ 本番は、参加できないが、今回のセミナーで参加したくなった。
- ・ これからの“人集め”大変でしょうけど・・・がんばってくださいネ。10月の本番は、できるかぎり・・・これますように！！

②想いを形にする編

満足度（アンケート回答者51人中）満足26人（51.0%）やや満足21人（41.2%）
やや不満4人（7.8%）

- ・ とても充実していました。内容の濃い2日間でした。
- ・ 自分の力量不足を感じれました。
- ・ とても楽しく学びの多いものになった。
- ・ 仲間のありがたさを実感
- ・ 話しあいの仕方には少し改善点は見られました。
- ・ 楽しかった。自分達で考えて、自由に動けたので有意義だった。
- ・ 時間に余裕をもって活動できた。自分達のやりたいことができた。
- ・ 職員さんの目線で貴重なご意見をありがとうございました。
- ・ 色々な道具が次から次と貸してもらえ、活動しやすかった。
- ・ 初めて参加しましたが、とても楽しく活動することができました。

③夢が現実になる本番編

満足度（アンケート回答者31人中）満足23人（74.2%）やや満足7人（22.6%）
やや不満1人（3.2%）

- ・ 自分たちのやりたいことが形になったとおもいます。ありがとうございました。
- ・ 今回できなかったこと、中途半端だったこと、次こそはやりきる！！
- ・ 沢山のことを学ぶことができました。ありがとうございました。
- ・ 子どもから大人まで非常に楽しそうに活動されていて、自分も元気になりました。参加してよかったです。
- ・ 参加者みんなで作るお祭り、という感じがよかったです。
- ・ 参加してよかったです。ありがとうございました。

10 成果と今後の課題

①企画力・運営力アップセミナー編

参加者は、講師の体験的なアクティビティから、企画・運営に関する必要な知識を身に付け、企画・運営に必要な様々な能力（コミュニケーション能力、合意形成能力、問題解決能力）を高めることができた。また、さんべ祭に向けての企画の概要や実現に向けての組織づくりなど具体的な動きを作ることができた。

②想いを形にする編

例年になく参加者が少なかったが、少人数の特性を活かし、全体での話しあいを頻繁に行うことによって、情報の共有化や問題点の克服を行い、主体的かつ組織的な活動を展開することができた。

③夢が現実になる本番編

参加者は、自らのネットワークを十分に活用して、当日の企画運営に必要なスタッフを確保した。各班同士や、他のさんべ祭の参加団体とのつながりを深め老若男女が一体となったさんべ祭を創りあげることができた。地域や出店者の方々を巻き込んだ盛大なフィナーレを実施し、一体感を感じ取り、参加者それぞれが「未来のリーダー」となっていた。また、地域の方々から、「大学生がさんべ祭の企画・運営に一生懸命参画している姿を見て、元気や勇気をもらった。」という評価を聞くことができた。

1 1 普及計画・普及実績

事業内容および成果について当施設 HP で紹介する。また、公立の青少年教育施設や大学等へ事業紹介の場を積極的に設定し成果の普及に努める。さらに、夢ステージの発表の場である「さんべ祭」の事業報告書を作成し青少年教育施設、青少年教育関係機関等に送付し成果の普及を図る。

1 2 その他

①企画力・運営力アップセミナー編

講師にトヨタ白川郷自然学校長西田真哉先生を招き、企画・運営に関する基本的な事柄から実際に企画を実現するための重要なポイントについて理論を体験的に学べるように様々なアクティビティを通して指導していただいた。その後、グループに分かれてアクションプラン作成の時間となり、ここからプレゼンテーションまではグループの自主的な活動となった。



ねらいの共有



企画・運営についての講義



体験的なアクティビティ



グループでの企画の作成



アクティブなプレゼンテーション



全日程を終了し満足した顔の参加者

②想いを形にする編

ここからさんべ祭当日まで、参加者が日程や活動内容を決め主体的に取り組む形となり、職員は必要となきのみ助言を与えるサポート的役割に徹していった。前回のセミナーの参加者の想いを引き継ぎながら、「結～自然とつながる Youme ステージ～」という全体テーマの基、ステージ班・スナッグゴルフ班・ギネス班・プラとんぼ班の4つのグループに分かれて活動が行われた。



仲間集めに向けた活動プログラム



職員に対するプレゼン



スナッグゴルフ班の試行



試行錯誤のギネス班



サイエンジャーの試行をするステージ班



プラとんぼ班の試行



参加者の想いを結集した旗



各班の情報の共有化をする全体会



本番のさんべ祭まで1週間

③夢が現実になる本番編

本番までに練り上げられた企画は次の通り。

- ギネス班：自転車発電を通して省エネルギーを考えるきっかけを作る。
- スナッグゴルフ班：スナッグゴルフを通して家族の絆を深める。
- ステージ班：「大切な人に想いを伝えよう」をコンセプトにしたステージ企画
- プラとんぼ班：様々な工夫で「プラとんぼ」の楽しさを子ども達に体験させる。

各班の企画をコラボレーションさせるため、「夢ステラリー」と題したスタンプラリーや記録に挑戦する「ギネス認定」などの工夫を行った。



さんべ祭前夜の打ち合わせと準備



「大切な人に想いを伝えよう」の掲示物準備



いよいよさんべ祭当日の朝の最終確認



ギネス班の自転車発電の様子



参加の呼びかけをするスナッグ班



プラとんぼの楽しさを体験



大人気だったサイエンジャショー



老若男女が一体となった感動のフィナーレ



最高の笑顔の参加者たち！！

本事業は4年目であり、島根大学教育学部の参加者にとっては事業の流れ等が定着している。しかし、過去に比べ、1・2回生の参加者数の減少が著しく「企画力・運営力アップセミナー編」が終了した時点では、これまで通りの学生企画が実施できるか不安が大きかった。しかし、参加者は、島根大学での全体会や各班ごとの話しあいを重ね、少人数の特性を活かし、情報の共有化や問題点の克服を行った。そして、自らのネットワークを活用して、さんべ祭当日には企画の運営に必要なスタッフを確保し、夢を現実にしていく本番を参加者自身の力で創りあげていった姿はとても印象的であった。また、さんべ祭に参画している他の団体にさんべ祭のフィナーレへの参加を呼びかけ、保育園児、若者、老人といった様々な年齢層の代表者がさんべ祭の感想を発表し、老若男女が一体となり感動のフィナーレを迎えることができたことも本事業や当施設の存在意義を表すものになったと考える。

(担当 戸田 美之)